

CA1
EA947
B71
#5 May 1976
DOCS



1976年5月
No.5

LIBRARY E A / BIBLIOTHÈQUE A E

3 5036 01029988 4


カナダ

EXTERNAL AFFAIRS
AFFAIRES EXTERIEURES
OTTAWA
JUN 59
LIBRARY / BIBLIOTHÈQUE

60984 81800

- トピックス—2
- 大使館案内—オリンピック・コイン企画庁—2
- カナダから議員団来日—3
- カナダ議会展—3
- カナダの政治制度—4
- バンクーバーで人間居住会議—6
- カナダの鉱業—7
- 仕上げ急ぐオリンピック施設—7
- 「カナダと私」(柴沼喜久子)—8
- トピックス—8

Bulletin Canada

発行  カナダ大使館

明るさ増すカナダ経済

輸出、大幅に好転の見込み

国際景気の回復が進むにつれ、カナダ経済の見通しも明るさを増してきた。

まず、モントリオール銀行発行のビジネス・レビュー最近号によると、カナダの主要輸出市場における今年の国民総生産は約六パーセント成長する見込みで、それとともに、カナダでは原油輸出の政策的三割カットにもかかわらず、四パーセントの輸出増が期待できる。明年の八パーセント減と比べると、かなりの好転といえよう。また金額でも、同銀行では昨年のおよそ二パーセントから今年は十三パーセントへと大きく伸びるものと見ている。

一方、カナダ政府大蔵省は、このほど下院に提出した報告書の中で、世界の経済状況の好転に合わせて生産を増加する潜在力をカナダ経済は強く保有している、と述べている。報告によると、多くの企業が生産性の低下にもかかわらずレイオフを避け、従業員を温存してきたため、世界景気の回復とともにすぐにこれらの熟練労働者を活用できる状態にある、という。

さらに便利になる日加間空の旅

CP、日航とも週四往復に増便

モントリオール・オリンピックと夏の観光シーズンを控え、カナダ太平洋航空(CP Air)と日本航空は今年の四月から十月まで、それぞれ週三便から週四便へ増便する。

これは日加民間航空交渉で決まったもので、四月二十五日以来、CPのボーイング七四七が毎週火曜日、水曜日、金曜日、日曜日に東京からバンクーバーへ向かい、火水木土にバンクーバーを発つこ

どになっている。日航のバンクーバー向け東京発は月水金日の各日、バンクーバー発は火木土日。

ペンフィールド博士が死去

世界的な脳神経外科医

カナダの国際的な脳神経外科医ワイルター・ペンフィールド博士が、四月五日、モントリオールで死去した。八五才。ペンフィールド博士は、モントリオール神経病研究所(一九三二年創立)の創立者の一人で、一九六〇年に引退するまで長く同研究所の理事をしていた。その後マクギル大学の総長となり、医学教育と著作に余生を送った。

博士の主な業績としては、てんかんの原因をつきとめ、手術によって治療できるようにしたこと、人間の動作器官と知覚を制御する脳の部分を解明し、また人間の脳には他の動物にはない、二つの発声器があるということを発見した、ことなどが上げられる。博士は、医学の進歩に貢献したとして、各国からいろいろな賞を受けている。

プラスチックのスポンジで人工肺

将来は人体移植が可能に

ラバル病院(ケベック州)のドビエール・モラン研究部長は、このほど、将来は人体に永久的に移植が可能になるという、画期的な人工肺を開発し、注目されている。

この人工肺は約二・五平方センチの四面体で、毛細管の入ったプラスチック。と呼ばれるプラスチック・スポンジでできており、気体と血液を分離するほか、両方の混合分量を正確に吸入・吸出するという。モラン部長が率いる研究班は、

この人工肺をこれまで二カ年近く実験してきたが、今後は約十八カ月間、羊を使って実験したあと、人体に試みることになっている。人体の場合、血液の凝結などいろいろむづかしい問題もあるが、成功すれば病気や産業界などで肺を除去した人にとって大きな救いになる。

カナダ映画にオスカー賞

三浦雄二郎氏の「エベレスト大滑降」

カナダのクローリー・フィルム社が世界的スキーヤーの三浦雄二郎氏をテーマに製作したドキュメンタリー「エベレスト大滑降」が一九七六年度オスカー賞(外国長篇ドキュメンタリー部門)を受賞した。これは三浦氏の決死的な滑降を、同氏の人生観などをおりませながら記録風にまとめたもので、これまでカナダおよび米国各地で上映されたほか、英国ではBBC放送がテレビ放映している。

シロップ作りであけるケベックの春

ケベックを中心とするカナダの北東部では、雪とけとともにカエデの樹液を集めてシロップ作りが始まる。樹皮に切り込みを入れておくと、甘い液が下の缶やバケツにたまる。それを四十八時間以内に集めてろ化し、煮詰める水あめのようなシロップになる。ヨーロッパから探検家たちがカナダに渡ってくる前から、原住民のインディアンたちがすでにやっていたという、春先の風物詩だ。



◆大使館案内◆

オリンピック・コイン企画庁

カナダ政府は、七月にモントリオールで開催される第二十一回オリンピック大会を記念し、さらにその資金の一部をまかなうため、記念貨幣を発行、大会に参加する世界各国で発売している。七シリーズ二十八種(五ドル貨十四種、十ドル貨十四種)の記念銀貨のうち、六次(二十四種)まではすでに発行済みで、最終シリーズ(モントリオール大会記念版)の四種も六月中旬までには発売される予定。

銀貨に加えてこのほど百ドル記念金貨(写真)も発行された。十四金と二十二金の二種類で、いずれも片面にエリザベス女王の肖像、別面に古代アテネの女神と競技者が描かれている。

このオリンピック記念コイン販売計画を推進しているのがオリンピック・コイン企画庁。東京事務所は、東京都港区六本木三二二二二エルサビル(電話四七八二二九五二)。コインは全国の主なデパート、貴金属店、コイン店で販売されている。

各国で販売されるコインの収益金のうち、三パーセントはオリンピック大会への選手派遣費の一部になるよう、それぞれのオリンピック委員会に寄附されている。日本には、これまでに総計約一億円が贈られた。

なお、記念銀貨のうち、第六次銀貨は日本の福田繁雄氏がデザインした。

表紙の写真 カナダ連邦議会議員団の来日に合わせて、四月、国会図書館内で「カナダ議会展——歴史の記念碑」が開かれた。写真は、議事堂本堂の模型を囲んで、左からシエローム下院議長、ラボウンテ上院議長、プロロドベント新民主党党首(下院議員)、前尾衆院議長、ランキン駐日カナダ大使、佐々木日加議員連盟会長。(ジャパン・タイムス撮影)

カナダから議員団が来日

上下両院議長など友好を深める



ジェローム下院議長。1933年3月生まれ。トロント大学卒。1957年法曹界入り。市会議員などをへて1968年下院議員に当選。72年、74年再選。各種委員会の委員長をしたあと、74年から現職に。72年NATO代表。自由党所属。



ラボワンテ上院議長。1912年1月生まれ。ドミニオン音楽大学で音楽ラバル大学で社会学、文学、言語などを修めたあと、1939年にジャーナリズムに入る。モントリオールで記者、編集者として活躍。シャルボノ一枢機卿の伝記はベストセラーになり、1965年に1965年の最優秀記者賞を受ける。70年インディアン、北方開発省の広報担当、70年から72年まで3年間国連代表。71年上院議員に任命され、74年から現職に。自由党所属。

各分野での日加交流が活発になっているが、四月には衆参両議長の招きでカナダから上下両院議長を含む議会議員団七人が来日し、政府内外の関係者を訪問して友好を深めた。カナダの両院議長がそろって一國を訪問するのははじめて。

ルノー・ラボワンテ上院議長、ジェームス・ジェローム下院議長に率いられた一行は、十七日に到着、十九日には衆議院で前尾議長、参議院で河野議長、さらに総理官邸で三木首相などを訪問したほか、三月に結成された日加議員連盟のメンバーと外交問題、資源や製造業などの二国間経済関係、都市問題、公害問題、漁業問題、学術・文化交流など、日加間の共通の関心事項について懇談した。一行は、また、福田副総理、宮沢外務大臣、大平大蔵大臣、河本通産大臣を訪問し、意見を交わした。なお、野党の新民主党党首エド・ブロードベント下院議員は民社党幹部および社会党の成田委員長とも懇談した。

議員団は二十日大阪へ向かい、鐘紡、

松下電器を訪問したあと、京都を見学、二十二日に帰京して、翌二十三日帰国した。

議員団語録

日加関係の強化について——「海洋法、環境保護、核拡散防止など、二つの国が手をつなげる分野は少なくありません。(日本はカナダにとつて二番目に大きい市場だが)、工業製品は対日輸出のたった三%。一次産品ばかりでなく、もっと付加価値の高いものも買っていたかなくては」(ラボワンテ上院議長、朝日新聞記者との会見で)。

東京の第一印象——「千二百万人もかえる大都会でありながら、驚くほど静かだったこと。あなた方の法と秩序の順守ぶりには舌を巻きま

した」(ジェローム下院議長、毎日新聞記者との会見で)。

議員内閣制について——「米国の制度はそれなりに魅力的な特徴を持っているが、日々の必要に対応する上では、柔軟性や即応性に欠けるきらいがある。結局、長い目で見れば、議院内閣制の方に軍配が上がるのではないか」(同)。

ビルマ戦線で重傷を負った日本兵からあずかった日章旗について——「われわれはともに祖国のために戦う兵士だった。幸い助かった私がこの旗を日本の家族に返すのは私の義務だと思う。なんとかして見つけ出したい」(ケンプリング下院議員、サンケイ新聞)。

連邦議事堂を写真で紹介

カナダ連邦議会議員団の訪日を機会に、カナダ大使館は、国会図書館の協力を得て、同図書館六階で「カナダ議会展——歴史の記念碑」を開いた。これは、首都オタワにあるカナダ連邦議事堂の建物を紹介するとともに、カナダの歴史や政治制度を理解してもらおうというもので、議事堂本堂の模型のほか、七十八点の写真(いずれもカナダ国立映画制作庁が撮影)が展示された。

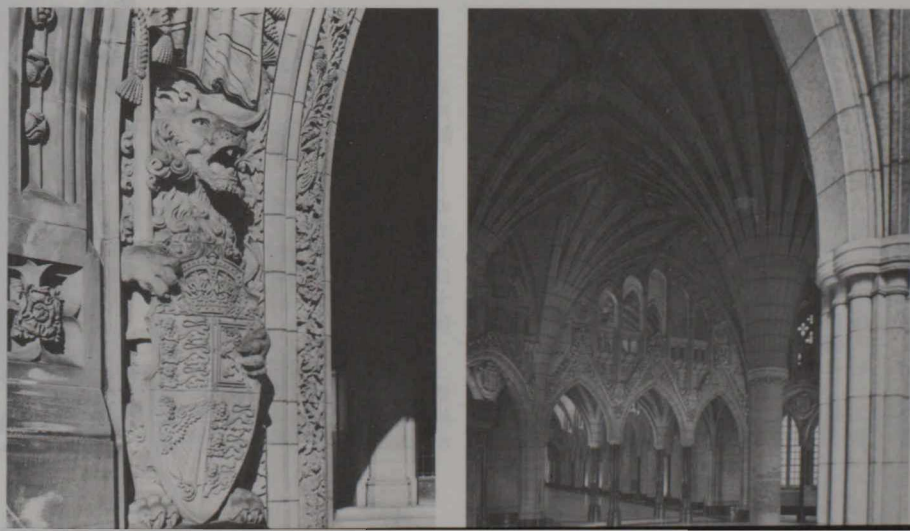
議長、日加議員連盟のメンバーなど、多数の関係者、来賓が参列した。

◀カナダ議会議事堂本堂の平和の塔。首都オタワが一望できる。

四月十九日の開会式にはカナダの両院議長のほか、前尾衆院



(左) 議事堂本堂の正面玄関にあるライオンと一角獣の像。君主制を守護する象徴である。
(右) 連邦の広間—ロタンダ(円形の大広間)とも呼ばれる。



カナダの政治制度

▼オタワ川沿いの丘の上に立つ連邦議事堂。



もともと英国植民地であったカナダは、一八六七年七月一日、英国政府が制定した「英領北アメリカ条例」により、「自治領カナダ連邦(ドミニオン・オブ・カナダ)」として発足した。そして現在も、カナダは(英)連邦諸国の「自由な統合」を象徴するエリザベス女王を元首に戴く立憲君主国である。このため、カナダがいまだに英国の自治領ないしは植民地である、と信じている人は以外と多い。

しかし、これは誤解であって、カナダは、現在、れっきとした独立国だ。

すなわち、「英領北アメリカ条例」によって、カナダ連邦の主権はイギリス国王(当時はビクトリア女王)に属し、国王が任命するカナダ総督が自治連邦の政治を執行することになったが、第一次大戦の前後から、内政、外交両面における実質的独立への気運が高まった。第一次大戦が終結すると、連合軍と共に戦ったカナダはベルサイユ講和会議に単独参加を求められただけでなく、国際連盟の原締約国のひとつとなった。そして、一九二六年末、ロンドンで開かれた英帝国会

議は、英本国とその自治領は同等の資格で英連邦を結成することを宣言(一九三一年のウェストミンスター条約で法制化)。カナダは他の英国自治領とともに、内政上、外交上、完全な主権国家となった。その間、一九二七年には米国と、翌年にはフランスと、翌々年の一九二九年には日本と公使を交換し、独自に外交問題を処理するようになる。

また、国内においても、英国の支配は除々に弱まり、英国女王であり、かつカナダを含む旧英連邦諸国の女王でもあるエリザベス女王の権限は、いまや名目上のものに限られ、さらに国王(女王)を代表する総督も、カナダ人の中から任命されるようになった。一九四九年には、「英領北アメリカ条例」が修正され、カナダ議会は連邦に関する憲法(英領北アメリカ条例)修正権を獲得した。そして、五一年、国名も、これまでの「自治領カナダ」(ドミニオン・オブ・カナダ)から、「カナダ」に変更され、カナダは名実ともに独立国となった。

さて、すでに述べたように、カナダは国王(現在はエリザベス女王)を主権者とする立憲君主制の連邦国で、議会民主主義の政体をとっている。連邦政府は、国王(総督が代行)、枢密院、内閣からなる行政府、国王、上院、下院からなる立法府、およびカナダ最高裁判所、カナダ財務裁判所、州最高裁判所などからなる司法府で構成され、また各州政府は国王を代表する副総督、州首相が率いる州議会(一院制)、州裁判所で構成される。

憲法 国家の基本法である憲法は、米国や日本のように具体的な、一つの文書の形をとる場合もあるが、英国などでは

「米国憲法」や「日本国憲法」に相当するものはなく、その憲法はいくつかの文書や憲法解釈、慣習、条例などから成っている。

カナダも英国同様、国の統治権や国家机关の機能などに関するまとまった文書はない。一応、カナダ連邦結成の基礎となった「英領北アメリカ条例」が、カナダ憲法の基本法とされているが、「カナダ憲法」はそれだけではなく、その他の英国条例(例えばウェストミンスター条例)、英国枢密院令、王位継承や総督、政府機関、選挙などに関するカナダ議会の条例、諸条例の司法解釈、慣習、慣行などを含む。

「英領北アメリカ条例」を含め、憲法の骨組みが英国で制定または慣習として発展したものであるため、主権国家カナダにとって、いろいろとそぐわない部分もでてきた。カナダにはもともと憲法修正権はなかったが、除々に——特に一九四九年の英国議会による「英領北アメリカ条例」の修正によって——カナダ議会の憲法問題に関する権限は強化されてきた。この四九年の修正により、カナダ議会は連邦と各州政府間の権限配分、公用語、学校教育などに関する部分を除いて、憲法を修正できるようにになった。理論的には、英国議会は、何の制約もなしにカナダに対する憲法法令制定権を今だに保持しているが、実際上は、右にあげたカナダの立法権に属しない、ごく限られた特定事項を除き、英国議会はこの権限を行使しない。つまり、カナダの要請と同意がない限り、英国議会はカナダに影響するいかなる法令も通さない。逆に、これまでカナダからの修正要請に

対して、英国はいつでもそれに応じてきている。

憲法を「カナダ化」する試みは、カナダの大きな課題として、何度もなされてきた。特に、一九六八年二月からビクトリア憲法会議が開かれた一九七一年六月までに、連邦と各州政府間で八回も会議が開かれた。その結果、憲法改正手続き、

基本的な人権、連邦・各州政府間の権限配分などを成文化した憲法草案を仕上げたが、権限配分などで全州の合意が得られぬまま、今日に至っている。



▲エリザベス女王とレジェ総督。

現行制度の特徴をいくつか上げてみると。

○連邦制——カナダは十州、二準州からなる連邦国家である。連邦政府は国防、外交、通商、郵政、通貨、財政、運輸、刑法、徴税など、国家的性格をもった事項を司り、各州政府は州内の財産、公民権、教育、保健、州裁判所の運営、免許などの分野で権限を行使する。

○議員内閣制——カナダにおける政策は、すべて上下両院からなる立法府が制定する。行政の全権は、下院第一党の党首である総理大臣が率いる内閣に委任されている。

○基本的人権——言論の自由などの基



本的人権は、「英領北アメリカ条例」には明記されていないが、その成文法および慣習法で実現されてきた。そして、一九六〇年には、カナダ人権宣言が採択された。

○公用語——「英領北アメリカ条例」により、議会議院および連邦裁判所では、英語、フランス語のどちらを用いてもよい。また、一九七〇年の公用語法は、正式に英仏両語をカナダの公用語と定め、連邦政府の発表や法規、連邦裁判所の最終決定などは、すべて両語で記され、また連邦業務も、必要に応じて、英仏いずれの言語でもできるようになった。

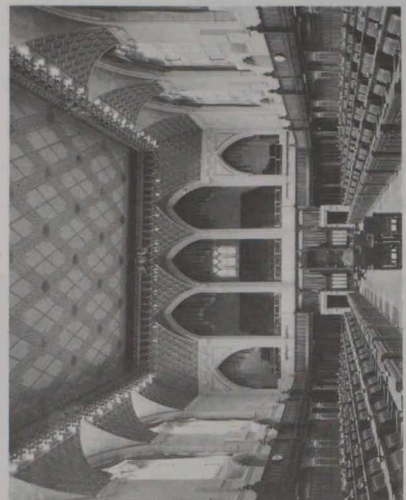
政治機構 カナダでは、イギリス同様、行政権と立法権の厳密な分割はない。正式な行政権は国王(女王)が掌握し(総督が代行)、立法権は国王(女王)と任命制の上院、および選出制の下院から成るカナダ議会に委ねられている。司法権は、独立した上級裁判所が行使する。

■行政府

①国王(Crown) カナダの行政権は、「英領北アメリカ条例」により、国王に存する。現在のエリザベス女王は、連邦建設以来のカナダの主権者としては六代目。女王はカナダの女王であると共に、旧英連邦諸国の女王でもある。総督の任命以外に、女王が自ら国王としての権限を行使することはほとんどない。

②総督 総督はカナダにおいて元首・国王(女王)を代表する。総督(現在はジュール・レジエ氏で、二十一代目。カナダ人としては四代目)は首相の推薦に基づき国王が任命する。任期は、通常、五〜七年。政府の継続が主な任務で、首相が死亡、辞任、または内閣総辞職など

の理由で空席になった場合、暫定的に新首相を選び、組閣させたりする。しかし、こうした例外的な場合を除いて、国王(すなわち総督)は常に内閣または首相の助言に基づいて行動しなければならない。総督は内閣(または、場合により、首相)の助言に従い、議会を招集、休会または解散し、総督令、辞令などの政府



▲上院の議場。

文書に署名するほか、議会で承認された法律案を裁可し、また外交使節を接授する。

③枢密院 「英領北アメリカ条例」は、カナダにおける国王の諮問機関として枢密院の設置を定めたが、国王代理の総督に実際に諮問するのは、全閣僚からなり、実質的には内閣と同一の枢密院委員会である。

枢密院は内閣の現閣僚と旧閣僚、皇族、現・旧(英)連邦首相、州首相、上下両院の旧議長、少数の民間人からなり、任期は終身。枢密院の顧問官になると、「The Honourable」の称号で呼ばれる。

④内閣 内閣は「英領北アメリカ条例」に明記されておらず、法的には枢密院委員会の形をとっている。閣僚は議員(通

常下院議員)の中から任命され、議会に對して責任を負う。総督は、総選挙後、多数党の党首に組閣を委嘱し、委嘱された党首は自党から閣僚を選出する。そのあとで、総理大臣と閣僚が正式に任命される。内閣は、下院で不信任されると、総辞職するか(この時点で、総督は野党党首に組閣を委嘱する)、議会を解散する。

■立法府

立法府は、国王(女王)と上院、下院よりなる。上院は、首相の助言によつて総督が任命する一〇二人の議員で構成されている。法的には、財政に関する法案(下院に先議権がある)を除いて、下院と全く同等の権利を付与されている。法案が成立するには上院の同意が必要だが、上院が拒絶することはほとんどない。任期は七五才まで。

下院は各州から人口比率の小選挙区制により選出された、二六四人の議員で構

成される。議案は上下両院のうち、どちらで先議してもいいが、前述のように租税や歳出などに関する法案に限って、下院が先議権を有する。また、公的法案は下院で先議し、会社設立などに関する私的法案は上院で先議するのが通例。最近は、上院でも立法活動が活発になった。

立法府における国王の機能は、法律案の裁可で、これは総督が代行する。法案の成立には国王(総督)の裁可が必要であるが、総督は上下両院を通過した法案は必ず裁可する慣習になっている。

■司法府

連邦最高裁判所(民事、刑事の最高上訴裁判所)、連邦裁判所(税務、商標、著作権、海事、航空宇宙などに関する訴訟や対連邦政府訴訟などを担当)の二つの連邦裁判所のほか、州ごとに最高裁判所および下級裁判所が設置され、司法権を行使している。

カナダ総督

カナダは立憲君主制の国であるが、君主はカナダに永住せず、慣例により英国に住むことになっているため、その私的代理として五年ないし七年を任期とする総督が任命され、国家元首としての任務を代行する。植民地時代の総督は実際に統治したが、現在では主権君主(エリザベス二世)の名代として公式あるいは儀礼的な行事を司るだけで、もちろん党派的政治には関与しない。

総督の現在の地位を明確に位置づけたのは、一九二六年の帝国会議。それまでは、総督は君主の代理であり、かつ法律上、英国政府の代理でもあった。一八六七年にカナダが建国されてからは、英国国益の代弁者としての総督の役割は減つたものの、総督は一九二六年

から四半世紀間も引続き英国の貴族の中から任命されていた。しかし、一九五二年以後、カナダ人が総督に任ぜられるようになった。それ以来、総督には英仏両語を話す英語系、フランス語系カナダ人が交互になる慣例になっている。これまでの総督は、すべて外交官としてすぐれた業績を残した人が選ばれている。

総督は国家の統一と政府の統合を象徴する存在であり、直接政治に参加することはほとんどなくなってきた。しかし単に形式的な存在ではなく、潜在的な権限は今だに保持している。いわば、万事うまくいっているときは決して使われることのない安全弁とも言える。

バンクーバーで人間居住会議

世界的な行動計画を喚起



「世界の国々は、この会議で、人間居住の諸問題に関する、幅広い国際的かつ国内的行動計画を立て、そして願わくば実施するであろう。ことは急を要する。

都市や町や農村では、大きな変化が起きており、われわれはときにその全体的な影響を把握するできない。わずか二五年以内に、人間共同体の約束ごとや、多くの場合、その性格あるいは将来の展望さえも、根本的に変わってしまうだろう。

われわれの見通しが正しければ、今世紀末までに人口約六五億のうち三五億が人



意が立って人類の住居問題の解決を志す。この会議は、人間居住問題の解決を志す。この会議は、人間居住問題の解決を志す。

口二万人以上の居住地に住むようになる。これらの居住地は人口増加の二倍の割合で大きくなり、人口二百万から三百万の都市はそのまた二倍の早さでふくれるだろう。これは、今後二五年間に、有史以来人間が作ってきたと同じだけの人工居住環境を作ることの意味する——カナダのダンソン都市問題大臣。

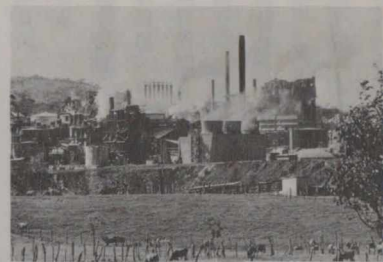
* * *

五月三十一日から六月十一日まで、カナダのバンクーバーで国連人間居住会議（ハビタット）が開催される。これは、一段と激化しつつある人口増加と都市集中による諸問題の解決を図り、いわば人類が現在直面している人口、食糧、エネルギーの供給と配分、限られた資源、環境汚染などをひっくるめた、人間生活全体を質的に向上させよう、というもので、約一三五カ国から二千人以上の代表が参

加する予定。国連としては最大の会議になる。

「人間居住」（ヒューマン・セツツルメント）という新しい概念は、

「市や町や村などの人間共同体と、それを支える社会的、物質的、組織的、文化的諸要素の総体」という意味で、具体的には住宅、衛生、レクリエーション、教育施設の整備、土地利用計画や都市における輸送機関の開発、地域開発計画への住民参加、食糧や資源の配分など、広範囲なことがらを対象としている。すなわち、これまで都市計画とか、交通政策、住宅政策、公害阻止などと、個別に扱われてきた都市問題を、全体的に把握しようということである。今後三〇年間に人口百万の都市が三千五百もふえ、六億戸の家が必要だといわれる。これに付随して、食糧、飲料水、貧困、衛生などの問題から資源・エネルギーや公害に至るまで、人間居住にとつて危機的な状況に発展することが予想される。今度の会議の目的は、これを未然に防ぐ総合的な対応策を国際的に考えようということにある。こうした問題は、今後人口の激増により汚水や下水道の不備、拡大するスラムといった古い問題と、スモッグや化学汚染という近代的問題が背中合わせに悪化していくことが予想される貧しい発展途上国において深刻であるが、豊かな先進工業諸国もこの危機から免れ得ない。ここに居住問題を世界的視野で解決する必要がある。



今回の会議の特色は、ほかの会議と異なつて、問題分析に終始することなく、失業、公害、過密、スラム、交通、社会的疎外、犯罪といった居住問題に具体的にどう対処するか、その解決に力を入れることにある。各参加国はフィルム、スライド、テープ・レコーディングなどの視聴覚レポートによつて、それぞれの国における居住問題への取り組み方を説明し、これをもとに討議が行なわれる。これによつて、各国がそれぞれの経験を交流し、自国の居住問題に最も適した対処法を見つけだし、実施することが期待されている。

国連人間居住会議の開催は、四年前にストックホルムで開かれた国連人間環境会議で決まったもので、一九七三年末フイリッピンへのベニテス上院議員の下に会議の方向を決める準備委員会が設置されたのを手始めに、一九七四年にはコロンビアのペネロサ氏が議長に選ばれたほか政府準備委員会が設置されるなど、着々と準備が進められてきた。

今回の会議の特色は、ほかの会議と異なつて、問題分析に終始することなく、失業、公害、過密、スラム、交通、社会的疎外、犯罪といった居住問題に具体的にどう対処するか、その解決に力を入れることにある。各参加国はフィルム、スライド、テープ・レコーディングなどの視聴覚レポートによつて、それぞれの国における居住問題への取り組み方を説明し、これをもとに討議が行なわれる。これによつて、各国がそれぞれの経験を交流し、自国の居住問題に最も適した対処法を見つけだし、実施することが期待されている。

会議は継続的に開かれる総会と三つの主要委員会からなり、国内のおよび国際的居住政策立案の原則を宣言し、国際協力の即時行動計画および長期計画を進言するほか、国内の居住政策・戦術や居住

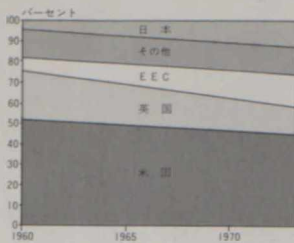
計画、計画の遂行機関、公益資源としての土地、住民参加、住居および基本施設などについて提案することになっている。

この政府間会議と平行して、五月二十七日からバンクーバー近郊の旧空軍基地で、各国の民間学者や専門家による非政府組織会議（ハビタット民間フォーラム）が開かれる。会場は同時通訳の設備がなされているほか、主会議場とはクロウズ・サーキットのテレビで結ばれていて、人間居住に関する種々の問題を政府間会議と同時に進行的に討議する。主な参加予定者は国際建築者組合、シエラ・クラブ、国際歩行者連盟、いろいろな教育団体、消費者運動家ラルフ・ネーダーなど。約一万人の参加が見込まれている。

* * *

「この会議を通じて、各国政府、そして世界全体は、最も貧しい人々の必要性に応えるよう、力を傾注してもらいたい。工業諸国にも、恵まれない人たちが何百万といる。ハビタット会議はこれら各国政府に状況の改善を説得すべきである。しかし、人口の大半は第三世界の農村と都市の無断居住地に住んでおり、これらも住み続けるだろう。これらのうち最も不幸な人々にとつて、この会議によつて各国政府が彼らの生き残るための最低限の生活を保証するならば、会議は意義があつたと言えよう」——ダンソン大臣。





カナダの鉱業

生産高で世界第3位、輸出額は第1位

カナダは鉱物資源に恵まれ、鉱業生産は米ソに次いで世界第三位、輸出は世界第一位を誇る。カナダの労働人口の約一割を雇用し、国民総生産の八・五パーセント(昨年の生産額で百三〇億カナダ・ドル)を稼ぎ、カナダの商品総輸出額の実に三五パーセントを占める鉱業は、カナダ経済のバックボーンであり、国民生活の維持向上に不可欠の産業といえる。同時に、カナダの北方フロンティアの植民と産業発展に鉱業が果たす役割も大きい。

カナダが現在生産する鉱物の種類は六〇を越す。カナダはニッケル、亜鉛、石綿、銀の生産高において世界に比肩するものがなく(特にニッケルは世界の生産高の半分近くを占める)、カリ、モリブデン、硫黄、ウランの生産は世界第二位、銅と金の生産は世界第三位、アルミニウム、鉛、カドミウムの生産は世界第四位という有数の鉱業国。錫やマンガン、クロム、ボーキサイトなどのように輸入した方が安くつく二、三の鉱物を除いて、ほとんどの鉱物資源を自給し、かつ海外に輸出している。昨年は総額百三十四億ドルにのぼる鉱物資源が生産され(内訳は金属三六パーセント、燃料五一パーセント、非金属一三パーセント)、原鉱、半加工の鉱物輸出はカナダの全商品輸出額の三五パーセント近くに達した。そのうち特に重要なものは原油、天然ガス、鉄、ニッケル、石油および石炭製品、銅、アルミニウム、カリなど。

カナダの鉱業は、今後、国内加工への



傾向が強まることとが予想される。これは、鉱工業の付加価値を高めるとともに、第二次産業における雇用機会を増進するためであり、これによって鉱山、製造所、精練所、加工工場などの建設のための資金需要はさらに高まるだろう。今後十年間にカナダのエネルギー資源開発および関連の交通網整備に一千五百億ドル、金属、非金属鉱物資源の開発に五百億ドルの投資が必要だといわれる。

カナダは、その鉱業を健全に発展させ、ますます拡大する世界の鉱業市場の中で自らの地位を守るため、大きな試練に直面している、といえよう。

カナダの連邦政府および各州政府は、石油、石炭、天然ガス以外の鉱物資源に関する基本方針に合意した。この中で、今後の討議に当たっての重点目標として、次の諸点が上げられた。

一、鉱業政策は、まず第一に、鉱業を基礎とした国家および地域経済の多角化と成長を図るべきである。それには、鉱物加工の増進だけでなく、国内での鉱工業の増大および経済の各分野との連携増大が含まれよう。

二、鉱物加工や鉱工業の増進が得意な場合は、カナダが輸出から最上の見返りを得るよう図る。

三、場合によっては、経済的多角化や



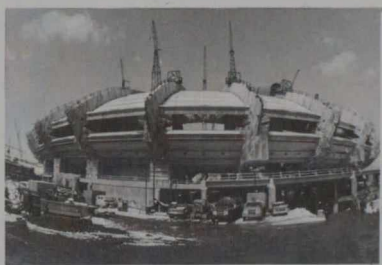
鉱物からあがる利益の率を緩和し、資源の保護に力を入れる。

カナダ政府は四月二十七日、下院に新エネルギー政策を提出した。政策の骨子は、北方地域の石油資源開発を強力に進める、石油産業が開発を実行できるように原油および天然ガスの価格を今後二年

オリンピック施設いよいよ完成へ

●開幕を待つモントリオール●

労働争議やインフレの影響などで工事が遅れ、一時は開催さえ危ぶまれていたモントリオール・オリンピックは、氷が解け、春が到来するとともに準備も急ピッチで進み、関係者は最後の仕上げに取りかかっている。



間に六〇パーセント引上げ、原油については現在のバレル当り八ドルから十三ドルにする、原油の輸入は現在の量に抑え、一九八五年の輸入は全需要の三分の一以下になるようにするというもの。また政府自身も、今後三年間の北方石油開発費を、年間三億五千万ドルから年間七億ドルに引上げるよう提案している。

またオリンピック村も仕上がりが、いつでも入居できる。開村式は六月二十二日の予定で、世界各国から約一万一千人の選手や役員が競技中ここに滞在することになる。オリンピック村は、健康管理、食事、通信の諸サービスが完備している。

▲完成を待つオリンピック・スタジアム(三月現在)。ここで開会式、閉会式、フットボールおよび馬術競技などが行なわれる。
▼オリンピック・ペロドローム。自転車競技場であるが、真中にテニスコート五面をおくほか、ハンドボール、ボクシング、レスリング競技場および会議場としても利用できるようになっている。



トピックス

東京オートサービスショー カナダから七社が参加

五月四日から七日まで東京の晴海国際見本市会場で開催された一九七六年東京オート・サービス・ショーに、昨年に引き続きカナダからも自動車整備機器製造業者七社が参加した。

今回の見本市では、ホイール・ダイカスト機、単一バッテリー充電機、ボディ・フレーム修正機、復元装置を内蔵したバルブガイド、タイヤ修理の万能バルブナイザーなどの製品が出品され、好評を博した。

カナダ製短距離着陸機 上昇時間で世界記録

カナダのデ・ハビランド社が開発したダッシュュー7型短距離着陸機（STOL）は、この二月、テスト飛行計画十一月足らずで飛行時間五百時間を達成したが、その間に安定性、制御能力、名システムの性能などの各種テスト



▼性能の優秀性を示したダッシュュー7

カナダと私 (2)

柴沼喜久子

この日もまた雨だった。朝目が覚めても、雨の音が聞こえるところがっかりする。四月も半ば過ぎるといいうのに、その前日には霰が降った。考えてみれば北国である。日本は大体北緯二十四度から四十五度の間にあるのに比して、カナダはアメリカ国境に近いバンクーバーでさえも五〇度の線より僅か南に位置しているくらいである。

「今日から出張だ」と言って、朝わが唯一の頼みの綱なる夫は——この頃ばかりは心の底からそう思っていたのである——出かけて行った。ダウンタウンの地図はここ、そしてお金はここ」とか、その他自分で気になる事だけ矢つぎばやに言い残して行ってしまった。私は一人で「少し台所用品がいるんだけど、どうしよう」と考えた。私達は実は日本を出る前に「あまり日本人の仲間に世話をかけ過ぎないで、自分達で出来るだけやっへ行こう。そしてカナダとカナダ人を、自分達自身の目で見、耳で聞き、肌で感じて経験した事を大切にしたい。また、こ

が行なわれ、離着陸距離、運行重量、上昇速度、航続距離などでその優秀性が確認された。

また同社の同じSTOL機、DHC-50型「バッファロー」は、上昇時間で三つの世界記録を更新し、速度、高揚力、上昇角度などで群を抜いていることを示した。

人事往来

○サスカチュワン州政府代表团（团长

のカナダ社会で異国人としてどこまでとけ込めるか努力してみよう」というような事を健気にも話した事があった。「雨も止んだし、そうだ、行って来よう」と私は決心し、子供の手をひいてバスに乗った。ほんの数人の客を乗せたバスは、「乗りますよ」と遠くから合図する人をも待つてあげる。驚いた事に、ま昼の下町に

▼バンクーバー



雑踏がどこにもみられない。ダウンタウンのデパートは、これまた驚く程スペースがゆつたり取ってあるが、品数は思ったより少なく、店員の少ないには不便を感じる程である。かさばる台所用品ばかりなので手が二本では足りない。「さうだ。タクシーを拾おうか。——いやまてまて。この辺から一体いくら位取られ

アラン・ブレイクニー州首相)、五月十七日から二十四日まで訪日。

○財界代表团（团长・永野重雄日商会議会頭)、五月十七日からバンクーバーで開かれる太平洋経済委員会第九回総会へ出席のため訪加。

○身体障害者スキーヤー十五人、身障者の国際スキー大会に参加するため、四月二十三日訪加。応援のため三笠宮殿下が同行。

るのだろうか?と自問し、お財布の中に残っている二十ドル残幣を思い浮かべても、その時二十ドル札の威力を私はまだ知らなかった。安全な方をとって、子供にも荷物を下げさせ、バス停に向かった。大通りを歩いてみると、大きい荷物を持った親子が青信号の間に車道を渡り切れないうで、もたもたしていても、自動車はちゃんと渡り切るまで待つてくれる。そしてこの日、もう一つ驚いた事が起つたのだ。家に帰ってみると、デパートでぬいで子供が手に持っていたはずのカーディガン、バスの中に忘れてきてしまったのだ。しまった!子供は大きい荷物を下げさせた事も忘れて私は彼女を叱りどし、バス停にとつて返した。あのバスの終点まで行って聞こうと思つたのである。ところが、バス停の近くまで行くと、反対方向から来たバスが私の姿をみとめ止まつたのである。二重顎のでつぷりした運転手さんが下りて来ると、その大きな手には、何とあの小さなカーディガンを持つていてではないか。「これはあなたのですか」という。私は「ありがとう」をくり返してそれを受け取った。「カナダって素的な所ね」私は子供へとも自分へともなくそう言いながら空を仰いだ。

本紙は、カナダ大使館から二か月に一回発行されます。本紙掲載内容の転用、転載は自由ですが、その際は出典を明らかにして下さい。なお、ご意見やご希望は左記の住所にご連絡下さい。

東京都港区赤坂七丁目三番三八号

カナダ大使館広報部